

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2022年 8月 1日

事業所名：しょうせい式放課後デイサービスぶりん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	学習、食事など児童がそれぞれの時間を自身のペースで行えるような、パーテーションで区切って使用できるスペースが確保されている	18名回答(はい…16名 いいえ…1名 わからない…1名)	移転に伴いスペースが以前に増し十分に確保できるようになります。
	2 職員の適切な配置	適切な人員配置・専門職の人員配置を行っている。	18名回答(はい…17名 わからない…1名)	配置人員の抜け等がないよう引き続きしていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	活動スペースをクッションフロアに変更してバリアフリー化にも努めている。	18名回答(はい…15名 どちらともいえない…1名わからない…2名)	引き続き情報伝達などに配慮した環境及び、障害の特性に応じた設備整備をいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	手に触れるところのアルコール消毒を行い、清掃を日々行い清潔な空間を確保している。	18名回答(はい…16名 どちらともいえない…1名わからない…1名)	引き続き清潔な空間を確保していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	職員で日々話し合うことにより、職員間で共有できる時間を作っている。		積極的に話ができる環境を作っていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	同系列事業所との連携を取っている。		外部の評価を取り入れ、業務改善を行っていきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	職員研修を実施している。知識の向上のため、研修の参加、提示をしつつ、自主的に受けたい研修に参加している。		引き続き、職員の資質の向上のため、必要に応じ参加と提示をしていきます。独自の研修も行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	職員間で児童の状況を話し合い理解したうえで保護者様と話し合い、計画書を作成している。		引き続き、アセスメントを適切に行い、児童と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上、しっかり共有し作成をしていきます
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況や課題を話し合った上で必要な活動を適宜計画に取り入れるよう心がけています	18名回答(はい…18名)	より子どもの力を伸ばすため、効果的な個別・集団活動の比率や活動の内容、スタッフ・他児との組み合わせを検討し、取り入れていきます。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者様が分かりやすいように具体的な支援内容の欄を設け行っています。	18名回答(はい…17名 わからない…1名)	引き続き、どのような活動をし、子どもがどのような反応を示し、どのような体験となったかを具体的に明記していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 t (続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が支援計画や児童の特性を理解した上で支援を行っている。	18名回答(はい…16名 どちらともいえない…1名わからない…1名)	職員同士で支援計画や児童の特性について、意見交換とブラッシュアップをし、支援を行う。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	役割分担を行い日々のプログラム活動をリーダーを中心に考えている。		各職員が担当プログラムを持ち、全ての職員がいずれかのリーダーとして責任をもってプログラムを立案する
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日にできる支援と休日にできる支援を分けて考え、長い時間の支援、短い時間の支援を有効的に使っている。		長時間支援・短時間支援のメリット・デメリットを理解し、メリットを最大限に、デメリットを最小限に出来るように工夫する
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	役割を分担してプログラムが固定化しないようにしている。	18名回答(はい…18名)	児童の成長につながる様々なプログラムを今後も考え固定化しないようにしていきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に前日の振り返りを行い、当日利用の児童の情報を共有している。		引き続き朝礼時に情報共有を行っていきます
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎終了後、職員間で情報共有している。		引き続き振り返りをして職員間で情報共有していきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々起きたでき事や支援記録を正確性をもって記入している。		引き続きその日の出来事をその日のうちに職員間で情報共有しノートなどにまとめていきます。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングの実施を行っている。作成の漏れなどが無いように日々チェックをしている。		引き続き定期的に状況と目標の確認を行き作成の漏れなどが無いようにしていきます。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	担当職にて参加を行っている。		積極的に行っていきます
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	現在、医療的ケアが必要な児童の利用登録がありません		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者の合意のもと連携を取ることもある。		引き続き保護者の合意のもと情報共有ができることは連携を取っていきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	現在、該当年齢の利用者様がいません		必要時には保護者、学校等と連携し情報の提供を行っていきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	新型コロナウイルスの為、自粛中		新型コロナウイルス終息後積極的に機会を検討していきたいと考えます
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	新型コロナウイルスの為、自粛中	18名回答(はい…15名 どちらともいえない…1名わからない…2名)	新型コロナウイルス終息後積極的に機会を検討していきたいと考えます
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	新型コロナウイルスの為、自粛中		新型コロナウイルスが終息してきた際に行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	安心して来所して頂くために丁寧な説明を行っています。	18名回答 (はい…17名 どちらともいえない…1名)	引き続き丁寧に対応していきます
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画書を基に丁寧な説明をしています。	18名回答(はい…17名 いいえ…1名)	引き続きニーズをもとに保護者、本人に寄り添った支援内容を提示できるようにしていきます
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	状況に応じて実施している。	18名回答(はい…15名 どちらともいえない…1名いいえ…1名 わからない…1名)	知識向上できるように実施している。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの発達の状況や課題について日々連絡帳や送迎の際に共通理解を徹底している。	18名回答 (はい…16名 どちらともいえない…2名)	引き続き日々連絡帳や送迎の際に共通理解を徹底していく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者から相談が来た際親身になり対応している。	18名回答 (はい…15名 いいえ…3名)	職員間で共通理解し、相談の際に親身に対応できるようにします
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	新型コロナウイルスの為、保護者会などは設けていない。		コロナウイルス終息後積極的に機会を検討していきたいと考えます
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情などあった際に、迅速な対応をするため常日頃、職員間で連携を取っている。	18名回答(はい…15名 どちらともいえない…2名わからない…1名)	気持ちに寄り添い迅速な対応を心がけていきます
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	連絡帳やLINEなどを活用しながら保護者個人個人に合った方法をで情報伝達を行っている。	18名回答 (はい…17名 どちらともいえない…1名)	引き続き保護者に合わせた方法で情報伝達を行う。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	不定期であるがインスタグラムで発信している。	18名回答(はい…14名 どちらともいえない…1名わからない…3名)	日々の活動などを定期的に配信していきます
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報の取り扱いの研修を行い個人情報の取り扱いの重要性を全職員に共有している。鍵付きの棚で個人情報を保管している。	18名回答(はい…16名 どちらともいえない…1名わからない…1名)	引き続き十分注意し取り扱っていきます

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に詳しく説明させて頂いている。	18名回答(はい…15名 わからない…3名)	引き続き詳しい説明を心がけていきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	半年以内に一回避難訓練を行っている	18名回答(はい…14名 わからない…4名)	引き続き、半年に一回実施し、その際の詳細を保護者に分かりやすく伝えていく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回、虐待防止研修を行い。虐待防止用のカメラを設置している。		年1回の定期研修を全職員に再確認のため研修を行っていく。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、身体拘束を必要とする重度の児童は利用されていない。		
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現在、食物アレルギーをお持ちの児童の利用登録はない		初回面談で聞き取り、契約時に最終確認させていただき、日々アレルギーが出ていないかの確認していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間での話し合い場を設け、事業所内の他、系列事業所とも共有し再発防止のための会議を行っている。		職員間で話し合い、今後も事故などが無いように徹底していく。